

令和3年10月31日執行
第49回衆議院議員総選挙についての
意識調査結果

令和4年3月

山形県選挙管理委員会

1 調査の概要

(1) 目的

令和3年10月31日執行の第49回衆議院議員総選挙について、有権者の投票行動を明らかにするとともに、政治と選挙に対する意識や関心などを探るために意識調査を行い、もって今後における効果的な選挙啓発のあり方を探る。

(2) 調査対象

山形県内に在住の有権者 1,000名(市町村の選挙人名簿から無作為抽出)

(内訳)

地域別	村山	495
	最上	68
	置賜	187
	庄内	250
男女別	男	481
	女	519
年代別	18～19歳	15
	20～29歳	64
	30～39歳	95
	40～49歳	129
	50～59歳	138
	60～69歳	211
	70歳以上	348

(3) 調査時期及び方法

令和4年1月下旬に、調査票を対象者に郵送した。

対象者からは、PCやスマートフォン等により山形県電子申請システムにアクセスして入力するか、記入した回答用紙を返信用封筒に入れて返送するかのいずれかの方法により回答していただいた。

(4) 回答者数

495名(回答率 49.5%)

(参考) 前回(平成29年実施) 43.8%

(回答者数)

項目	回答者数	回収率
年代別	18～19歳	4 26.7%
	20～29歳	15 23.4%
	30～39歳	39 41.1%
	40～49歳	55 42.6%
	50～59歳	63 45.7%
	60～69歳	142 67.3%
	70歳以上	175 50.3%
無回答	2	
計	495	49.5%

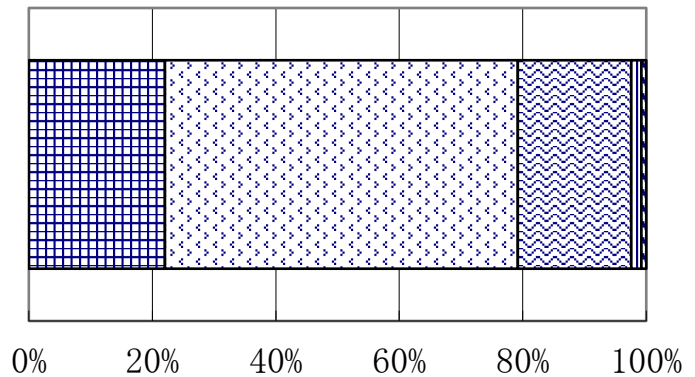
2 調査結果の概要

- (1) 政治に対する関心の程度・・・問1
○「政治に非常に関心がある」と「政治に多少関心がある」の合計は約8割となっている。
- (2) 今の政治に対する満足度・・・問3
○「やや不満である」と「かなり不満である」の合計は約6割となっている。
- (3) 投票率の低下について・・・問8
○「別に構わない」と「止むを得ない」の合計及び「何らかの対策を講じるべきである」がそれぞれ約5割となっている(前回は「何らかの対策を講じるべきである」が約4割)。
- (4) 投票率低下の理由・・・問9
○「投票しても政治はよくなる」が約4割と最も高くなっている。
- (5) 投票率上昇の対策・・・問10
○「選挙制度の改正などにより投票しやすい環境をつくるべき」、「政治や選挙に興味をもたせるように、教育や啓発活動に力を入れるべきである」がそれぞれ約3割となっている。
- (6) 投票に行った理由・・・問12
○「政治をよりよくするためには、投票することが大事」、「投票するのは、国民としての義務」がそれぞれ約3割、「今の政治に不満があり、それを改めたい」が約2割となっている。
- (7) 誰と投票に行ったか・・・問13
○「家族で行った」が約5割、「一人で行った」が約4割となっている。
- (8) 投票の参考としたもの・・・問24
○「新聞・テレビ報道」、「選挙公報」、「政見放送」、「マニフェスト」の順に高い関心が寄せられている。
- (9) 明るくきれいな選挙は行われたか・・・問26
○「わからない」が約4割、「行われていた」が約3割となっている。
- (10) 印象に残る啓発活動・・・問27
○「テレビCM」、「新聞広告」、「テレビ番組等の呼びかけ」、「市町村の広報誌」の順に印象に残っている。
- (11) 住民票を異動するかどうか、異動する理由、しない理由・・・問30,31,32
○「住民票を異動する」が約8割で、異動する理由として最も多いのは、「法令上しなければいけない」が約6割で、異動しない理由として最も多いのは、「必要性を感じないから」が約6割となっている。
- (12) 投票所までの距離と交通機関・・・問36,37
○ 投票所までの距離については、「ちょうどよい」が約7割となっている。
○ 投票所までの交通機関としては、「自家用車」が約7割となっている。
- (13) 家族が投票に行く場合に自分は投票に行ったか・・・クロス集計
○ 問22の自分以外の家族について、「全員が投票に行った」又は「投票に行った者がいる」である場合に、問11の「投票に行った」と回答した者は約9割となっている。
○ 問22の自分以外の家族について、「投票に行った者がいない」である場合に、問11の「投票に行った」と回答した者は約4割にとどまっている。

3 調査結果








問1 政治に対する関心の程度

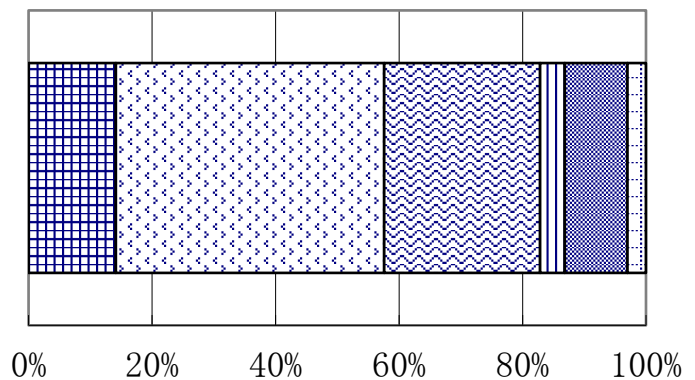
	回答数	割合
 非常にある	109	22.0%
 多少ある	283	57.2%
 あまりない	91	18.4%
 まったくない	8	1.6%
 無回答	4	0.8%



政治に対する関心の程度を尋ねたところ、有権者全体では、「政治に非常に興味がある」と「政治に多少興味がある」の合計が79.2%（前回：78.0%）となっている。








問2 政治に関心がない理由

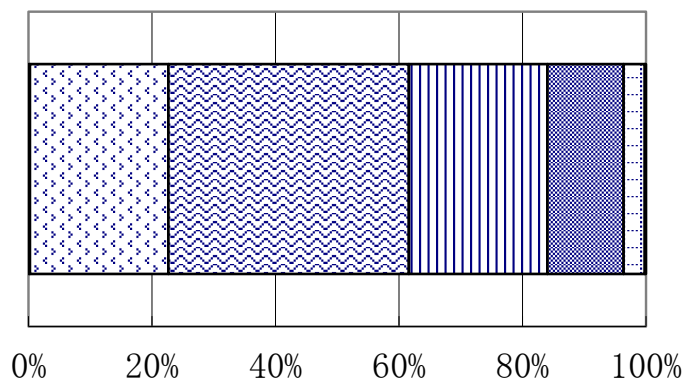
	回答数	割合
 暮らしに関係が薄い	14	14.1%
 意見が反映されない	43	43.4%
 難しくてわからない	25	25.3%
 考える暇がない	4	4.0%
 関心がない	10	10.1%
 その他	3	3.0%
 無回答	0	0.0%



問1で「政治にあまり関心がない」又は「政治にまったく関心がない」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「個人の意見が、政治に反映されないから」が43.4%（前回：23.9%）、「政治は難しくてよくわからないから」が25.3%（前回：33.0%）の順となっている。




問3 今の政治に対する満足度

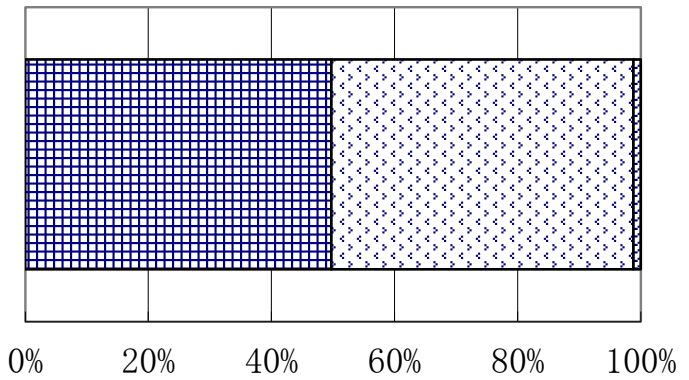
	回答数	割合
 かなり満足	1	0.2%
 まあまあ満足	111	22.4%
 やや不満	193	39.0%
 かなり不満	111	22.4%
 どちらでもない	61	12.3%
 わからない	17	3.4%
 無回答	1	0.2%



今の政治に対する満足度を尋ねたところ、「やや不満である」と「かなり不満である」が合計で61.4%（前回：54.1%）となっている。

問4 支持政党の有無

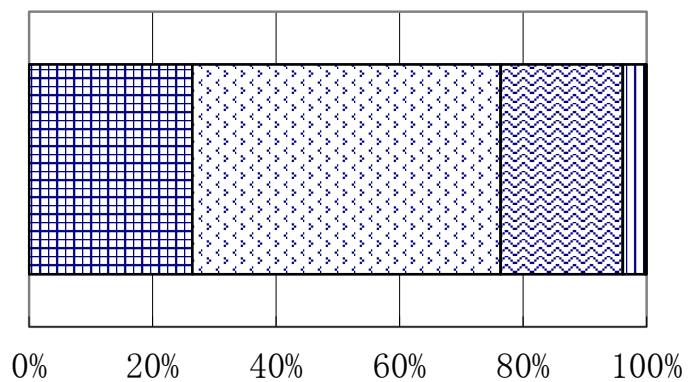
	回答数	割合
 ある	246	49.7%
 ない	243	49.1%
 無回答	6	1.2%



支持政党の有無について尋ねたところ、「支持政党がある」が49.7%（前回：47.7%）となっている。

問5 総選挙への関心度

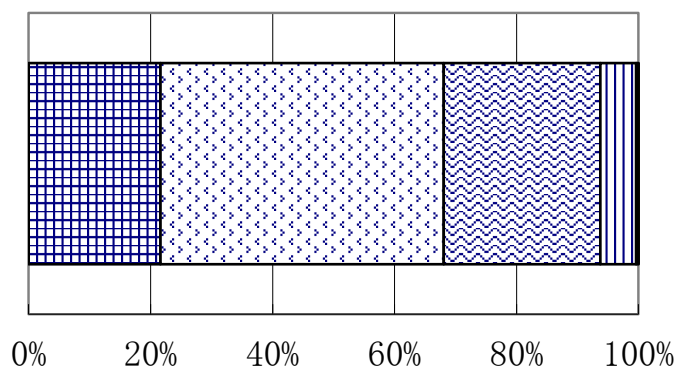
	回答数	割合
 非常にあり	131	26.5%
 多少あり	247	49.9%
 あまりなし	98	19.8%
 全くなし	18	3.6%
 無回答	1	0.2%



今回の総選挙について、どれくらい関心を持ったかを尋ねたところ、「非常に関心をもった」と「多少は関心をもった」が合計で76.4%（前回：80.1%）となっている。

問6 投票率への関心度

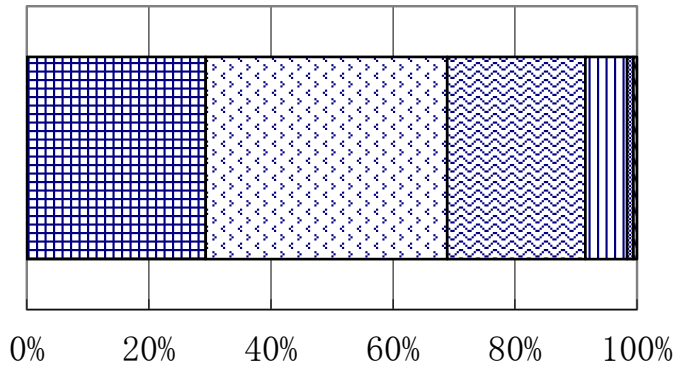
	回答数	割合
 非常にあり	107	21.6%
 多少あり	230	46.5%
 あまりなし	127	25.7%
 全くなし	29	5.9%
 無回答	2	0.4%



今回の総選挙の投票率の増減について、どれくらい関心を持ったかを尋ねたところ、「非常に関心をもった」と「多少は関心をもった」が合計で68.1%となり、前回（69.6%）と同様の傾向を示している。

問7 選挙権について

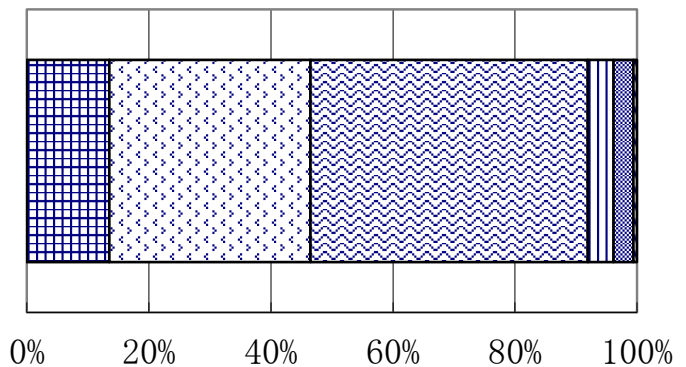
	回答数	割合
投票は国民の義務	145	29.3%
投票は棄権すべきでない	196	39.6%
投票するしないは個人の自由	112	22.6%
棄権も意思表示の一つ	34	6.9%
その他	5	1.0%
無回答	3	0.6%



選挙権(投票)についての考え方を尋ねたところ、「投票することは、国民の権利であるが、棄権すべきではない」が39.6%、「投票することは、国民としての義務である」が29.3%の順となっており、全体では、棄権すべきでないと考えている割合が68.9%と、前回(69.6%)と同様の傾向を示している。

問8 投票率の低下について

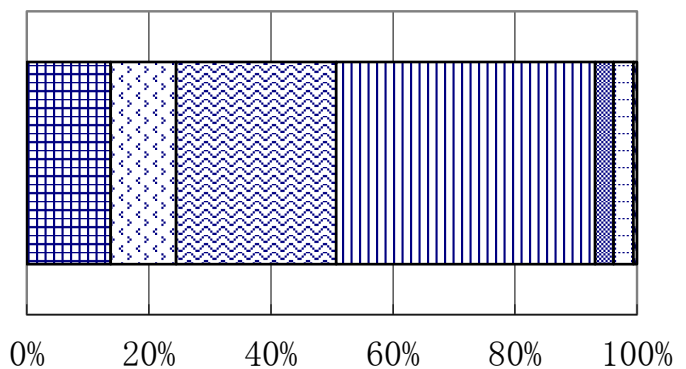
	回答数	割合
別に構わない	67	13.5%
止むを得ない	163	32.9%
なんとかすべき	225	45.5%
その他	21	4.2%
わからない	16	3.2%
無回答	3	0.6%



近年の選挙における投票率の低下についてどのように思うか尋ねたところ、「別に構わない」と「止むを得ない」の合計が46.4%(前回:53.7%)となっており、「何らかの対策を講じるべきである」の45.5%(前回:36.3%)を僅かに上回っているが、前回よりも問題意識が高まっている。

問9 投票率低下の理由

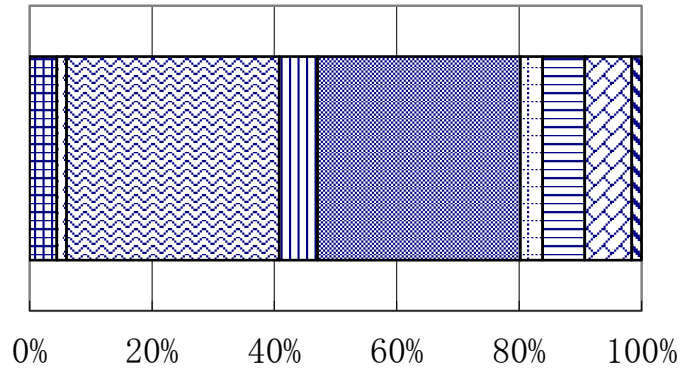
	回答数	割合
政治より自分	68	13.7%
支持できる政党や候補者がいない	53	10.7%
政治への不満や不信	130	26.3%
政治はよくなるらない	210	42.4%
その他	15	3.0%
わからない	16	3.2%
無回答	3	0.6%



投票率低下の理由を尋ねたところ、「投票しても政治はよくなるらない」が42.4%(前回:41.8%)、「政治への不満や不信のあらわれ」が26.3%(前回:22.4%)となり、前回と同様の傾向を示している。

問10 投票率上昇の対策

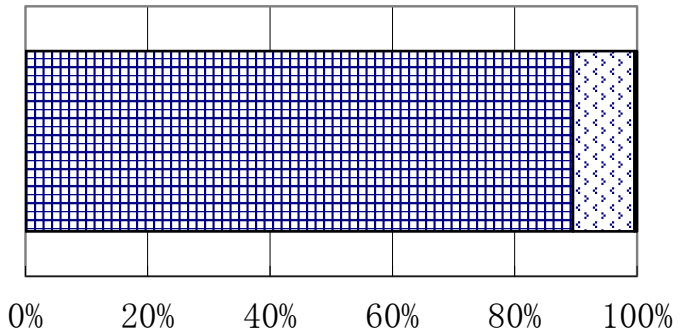
	回答数	割合
棄権者に罰則	22	4.4%
投票者を表彰	8	1.6%
投票しやすい環境整備	172	34.7%
選挙運動の自由化	31	6.3%
教育啓発の強化	164	33.1%
必要はない	18	3.6%
その他	34	6.9%
わからない	38	7.7%
無回答	8	1.6%



投票率を上げるために、どのようなことを行うべきか尋ねたところ、「選挙制度の改正などにより、投票しやすい環境をつくるべき」が34.7%（前回:38.4%）、「政治や選挙に興味をもたせるように、教育や啓発活動に力を入れるべき」が33.1%（前回:32.4%）の順となっており、前回と同様の傾向を示している。

問11 総選挙での投票

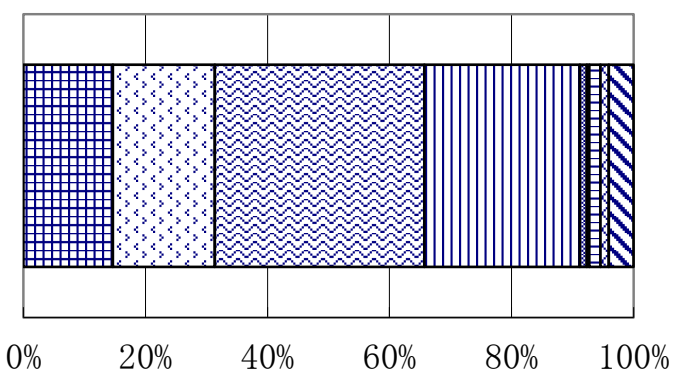
	回答数	割合
投票した	443	89.5%
投票しなかった	50	10.1%
無回答	2	0.4%



今回の総選挙において投票したかどうか尋ねたところ、「投票した」が89.5%となり、実際の投票率（64.34%）より本調査の回答者の投票した割合の方が約25ポイント高くなっている。

問12 投票に行った理由

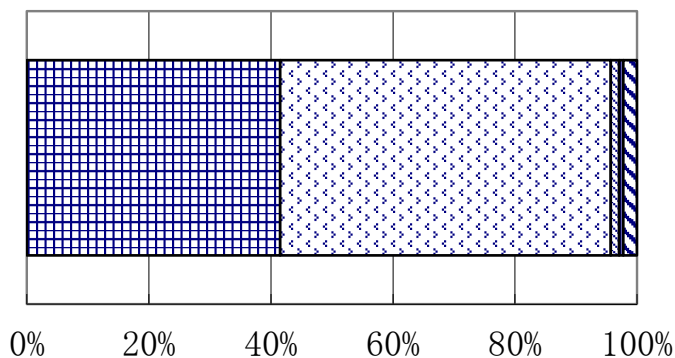
	回答数	割合
支持政党や候補者がいた	65	14.7%
政治への不満	74	16.7%
投票することが大事	152	34.3%
投票することが義務	113	25.5%
知人等に頼まれた	5	1.1%
投票日に予定がなかった	2	0.5%
その他	8	1.8%
わからない	6	1.4%
無回答	18	4.1%



問11で「投票した」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「政治をよりよくするためには、投票することが大事」が34.3%（前回:36.8%）と最も高く、次いで「投票するのは、国民としての義務」が25.5%（前回:22.2%）、「今の政治に不満があり、それを改めたい」が16.7%（前回:14.6%）の順となっている。

問13 誰と投票に行ったか

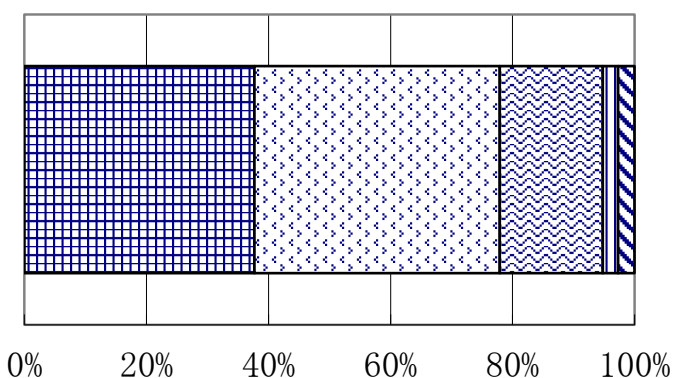
	回答数	割合
一人でいった	184	41.5%
家族と行った	240	54.2%
友人と行った	6	1.4%
その他	3	0.7%
無回答	10	2.3%



問11で「投票した」と回答した人に、誰と投票に行ったかを尋ねたところ、「家族と行った」が54.2%（前回：61.6%）と最も高く、次いで「一人でいった」が41.5%（前回：36.8%）となっている。

問14 候補者を選んだ動機（小選挙区選挙）

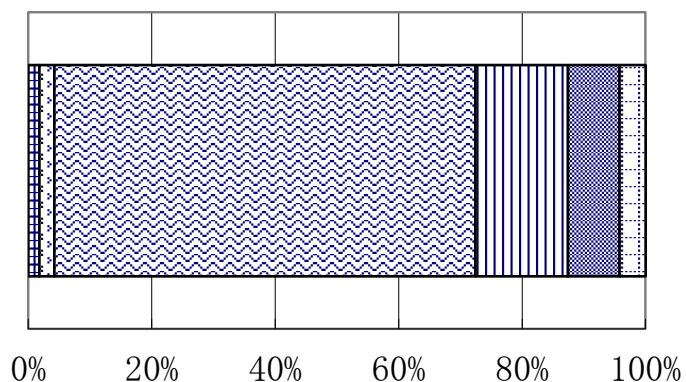
	回答数	割合
政党を重視	167	37.7%
候補者を重視	178	40.2%
一概にいけない	75	16.9%
わからない	11	2.5%
無回答	12	2.7%



問11で「投票した」と回答した人に、小選挙区において候補者に投票する際に、「政党」を重視したか「候補者個人」を重視したかを尋ねたところ、「候補者個人」が40.2%（前回：42.6%）と最も高く、次いで「政党」が37.7%（前回：39.4%）となっている。

問15 政党を重視した理由（小選挙区選挙）

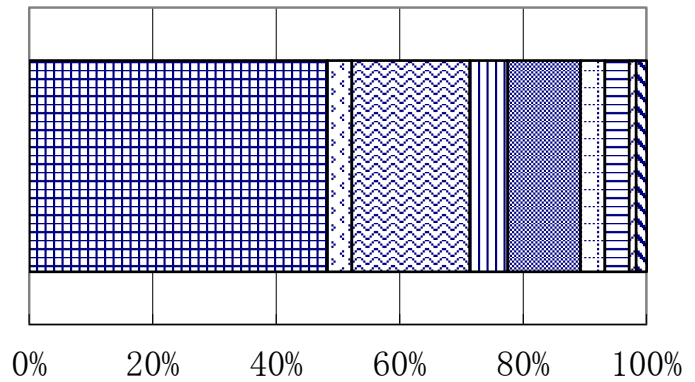
	回答数	割合
私が党員	3	1.8%
私が後援会員	4	2.4%
政策を支持	114	68.3%
その政党が好き	25	15.0%
その他	14	8.4%
わからない	7	4.2%
無回答	0	0.0%



問14で「政党」を重視して投票したと回答した人に、その政党を選んだ理由を尋ねたところ、「その党の政策や活動を支持するから」が68.3%（前回：63.1%）と最も高く、前回と同様の傾向を示している。

問16 候補者を重視した理由(小選挙区選挙)

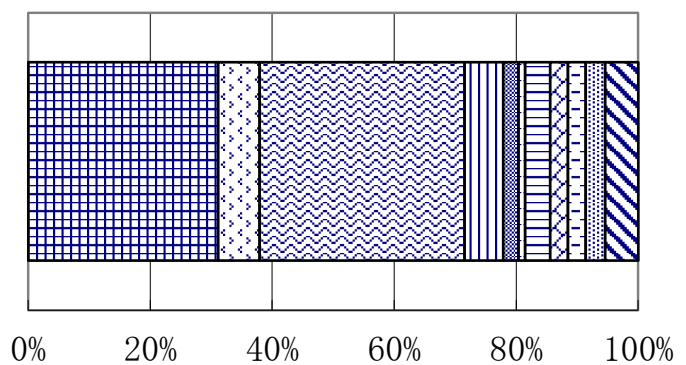
	回答数	割合
人物が大切	86	48.3%
私が後援会員	7	3.9%
優れた人物	34	19.1%
清潔な人物	11	6.2%
安心できる人物	21	11.8%
職場等のすすめ	7	3.9%
その他	7	3.9%
わからない	2	1.1%
無回答	3	1.7%



問14で「候補者個人」を重視して投票したと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「小選挙区選挙はとにかく人物が大切だから」が48.3%(前回:38.5%)、次いで「識見や実績の点で優れているから」が19.1%(前回:28.6%)となっている。

問17 政党を選んだ理由(比例代表選挙)

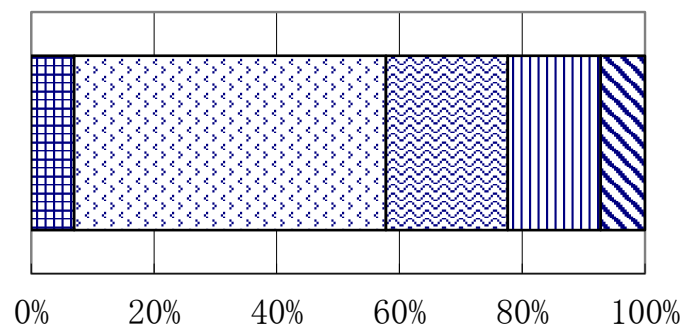
	回答数	割合
政策や活動を支持	138	31.2%
その政党が好き	30	6.8%
他の政党よりまし	149	33.6%
支持する人が党员	28	6.3%
支持する人が名簿に登載	11	2.5%
名簿登載者がよかった	5	1.1%
職場などのすすめ	18	4.1%
知人などのすすめ	13	2.9%
その他	13	2.9%
わからない	14	3.2%
無回答	24	5.4%



問11で「投票した」と回答した人に、比例代表選挙において政党に投票する際に、その政党を選んだ理由を尋ねたところ、「他の党よりましだから」が33.6%(前回:28.6%)、「その党の政策や活動を支持するから」が31.2%(前回:32.8%)となっている。




問18 名簿は投票の判断材料に役立ったか(比例代表選挙)

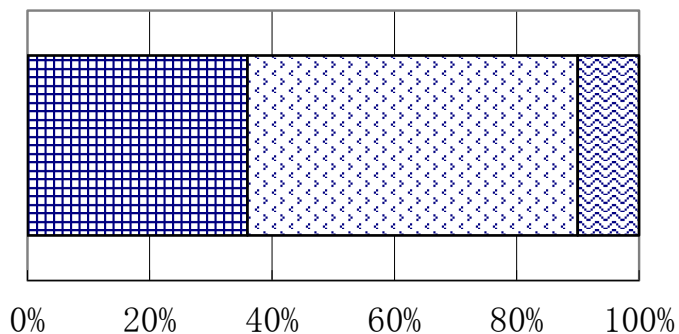
	回答数	割合
大いに役に立った	31	7.0%
ある程度役に立った	225	50.8%
役に立たなかった	88	19.9%
わからない	67	15.1%
無回答	32	7.2%



問11で「投票した」と回答した人に、比例代表選挙において政党に投票する際に、候補者名簿がどの程度役に立ったのかを尋ねたところ、「大いに役に立った」と「ある程度役に立った」の合計は57.8%(前回:55.1%)となっており、前回と同様の傾向を示している。



問19 元々、投票に行こうと思っていたか

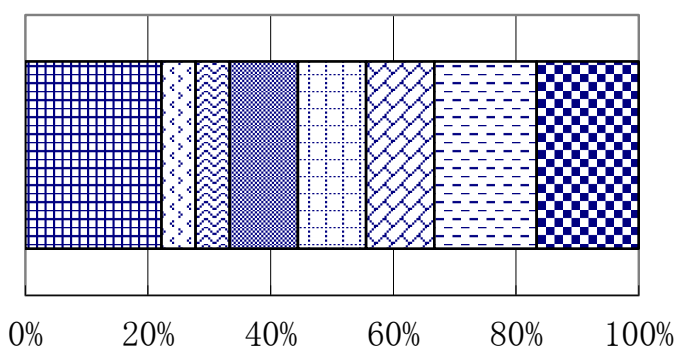
	回答数	割合
 思った	18	36.0%
 思わなかった	27	54.0%
 無回答	5	10.0%



問11で「投票しなかった」と回答した人に、投票に行こうと思ったかどうか尋ねたところ、「思わなかった」が54.0%となっている。

問20 投票に行こうと思っていたが、実際には行かなかった理由

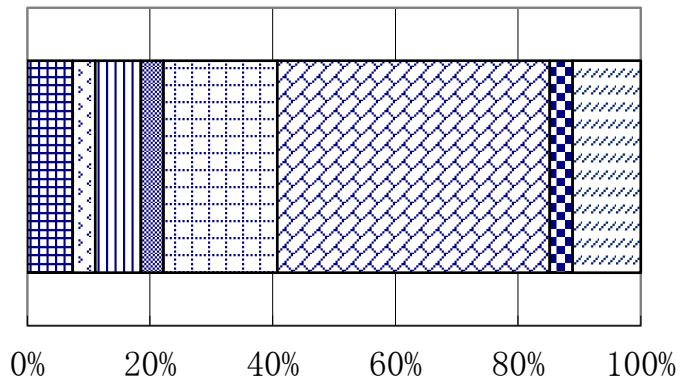
	回答数	割合
 用事があった	4	22.2%
 病気やケガ	1	5.6%
 面倒だった	1	5.6%
 政策や人物がわからなかった	2	11.1%
 投票したい党や候補がない	2	11.1%
 投票しなくとも同じ	0	0.0%
 投票しても政治が変わらない	2	11.1%
 投票所の雰囲気がいや	3	16.7%
 投票所が遠い・わからない	0	0.0%
 その他	3	16.7%
 わからない	0	0.0%
 無回答	0	0.0%



問19で「思った」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「用事があったから」が22.2%と最も高くなっている。

問21 投票に行こうと思っておらず、実際にも行かなかった理由

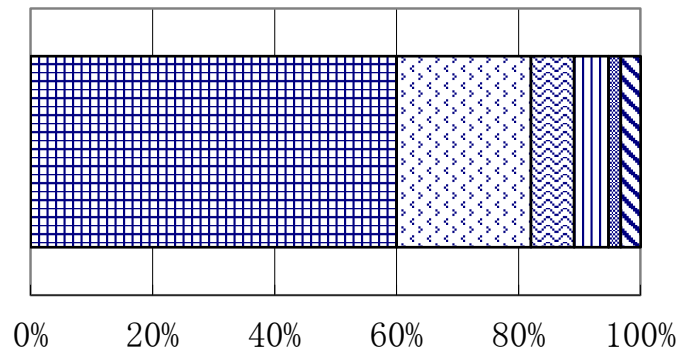
	回答数	割合
用事があった	2	7.4%
病気やケガ	1	3.7%
面倒だった	0	0.0%
関心がなかった	2	7.4%
政策や人物がわからなかった	1	3.7%
投票したい党や候補がない	5	18.5%
投票しなくとも同じ	0	0.0%
投票しても政治が変わらない	12	44.4%
投票所の雰囲気がいや	0	0.0%
選挙があることを知らなかった	0	0.0%
投票所が遠い・わからない	1	3.7%
その他	3	11.1%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%



問19で「思わなかった」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「投票しても政治が変わらないと思ったから」が44.4%、「投票したい政党や候補者がなかったから」が18.5%となっている。

問22 家族は投票に行ったか

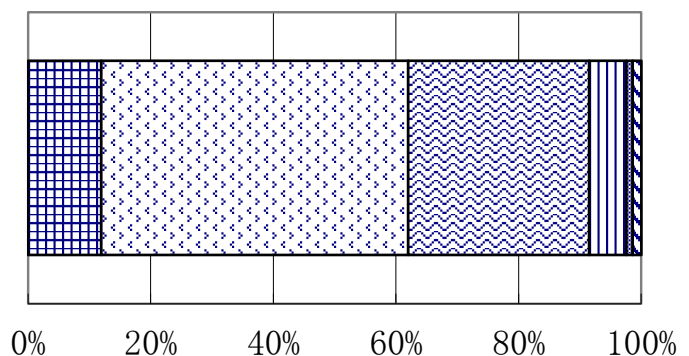
	回答数	割合
全員行った	297	60.0%
投票に行った者がいる	109	22.0%
投票に行った者がいない	35	7.1%
単身世帯である	28	5.7%
その他	10	2.0%
無回答	16	3.2%



回答者の家族の投票状況を尋ねたところ、「全員行った」が60.0%（前回：75.1%）と最も高く、次いで「投票に行った者がいる」が22.0%（前回：16.4%）となっている。

問23 選挙運動への関心

	回答数	割合
非常に関心あり	59	11.9%
多少関心あり	248	50.1%
あまり関心なし	146	29.5%
全く関心なし	30	6.1%
わからない	5	1.0%
無回答	7	1.4%

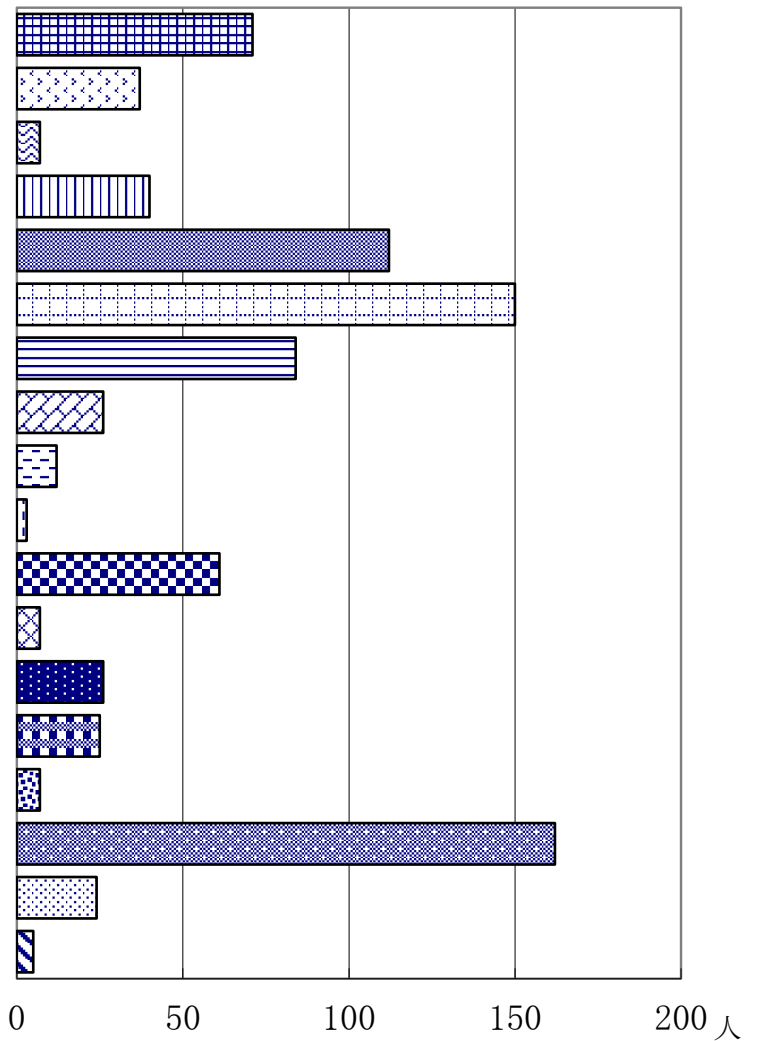


今回の総選挙において、候補者や政党が行った選挙運動にどれくらい関心を持ったか尋ねたところ、「非常に関心をもった」と「多少関心をもった」の合計が62.0%（前回：73.3%）となっている。

問24 投票の参考としたもの（複数回答）

	回答数	割合(※)
個人(政党)演説会	71	14.3%
街頭演説	37	7.5%
連呼	7	1.4%
新聞広告	40	8.1%
政見放送	112	22.6%
選挙公報	150	30.3%
マニフェスト	84	17.0%
ポスター・看板	26	5.3%
ビラ・はがき	12	2.4%
電話	3	0.6%
家族との話	61	12.3%
近所の評判	7	1.4%
知人などのすすめ	26	5.3%
仕事関係のすすめ	25	5.1%
町内会の推せん	7	1.4%
新聞・テレビ報道	162	32.7%
その他	24	4.8%
無回答	5	1.0%

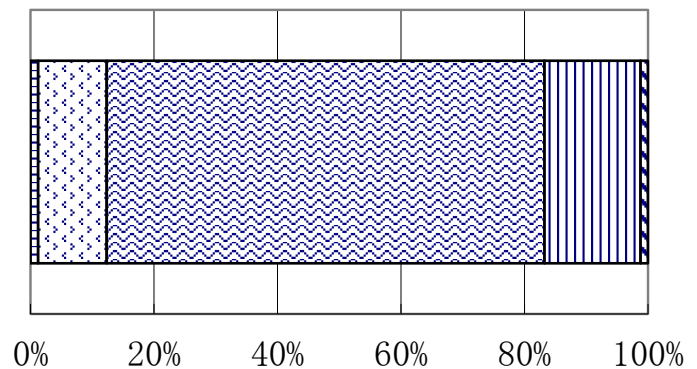
※・・・回答者数(495人)に占める割合



今回の総選挙において、どの候補者又は政党に投票するかを決めるときに参考にしたものについて尋ねたところ、「新聞・テレビ報道」が32.7%（前回：31.1%）と最も高く、次いで「選挙公報」が30.3%（前回：26.9%）、「政見放送」が22.6%（前回：22.8%）、「マニフェスト」が17.0%（前回：13.7%）の順となっている。





問25 国民審査への関心

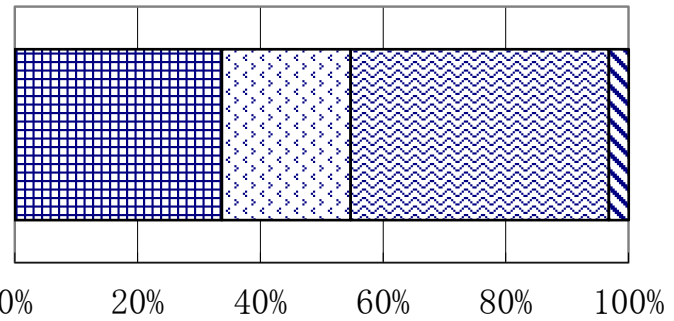
	回答数	割合
よく調べた	6	1.2%
多少調べた	55	11.1%
全く調べなかった	351	70.9%
投票しなかった	77	15.6%
わからない	0	0.0%
無回答	6	1.2%



今回の総選挙と同時に行われた最高裁判所裁判官国民審査において、審査される裁判官の人物や業績を調べたか尋ねたところ、「全く調べなかった」が70.9%（前回：72.6%）となっており、前回と同様の傾向を示している。

問26 今回の衆院選で明るくきれいな選挙は行われたか

	回答数	割合
 行われていた	167	33.7%
 行われていない	104	21.0%
 わからない	208	42.0%
 無回答	16	3.2%























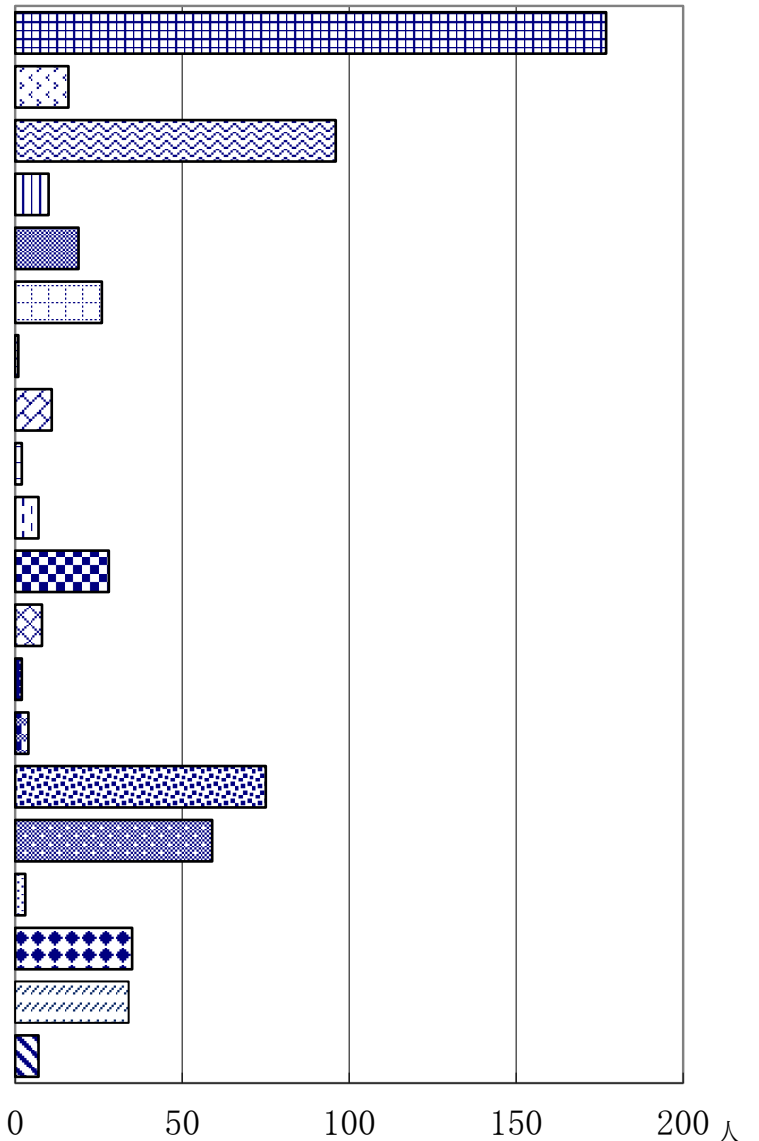
明るくきれいな選挙とは・・・

有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のこと。

今回の総選挙において、明るくきれいな選挙が行われたか尋ねたところ、「わからない」が42.0%（前回：44.5%）、「行われていたと思う」が33.7%（前回：37.2%）の順となっている。

問27 印象に残る啓発活動（複数回答）






	回答数	割合(※)
 テレビCM	177	47.2%
 ラジオCM	16	4.3%
 新聞広告	96	25.6%
 インターネット広告(YouTube)	10	2.7%
 啓発ポスター	19	5.1%
 啓発チラシ	26	6.9%
 コンビニレジ画面広告	1	0.3%
 垂れ幕、看板	11	2.9%
 各種啓発グッズ(ティッシュ等)	2	0.5%
 のぼり旗	7	1.9%
 県や各市町村の広報車	28	7.5%
 スーパー等	8	2.1%
 プロスポーツの試合会場	2	0.5%
 県や市町村のホームページ	4	1.1%
 テレビ番組等の呼びかけ	75	20.0%
 市町村の広報誌	59	15.7%
 その他	3	0.8%
 聞きしなかった	35	9.3%
 わからない	34	9.1%
 無回答	7	1.9%

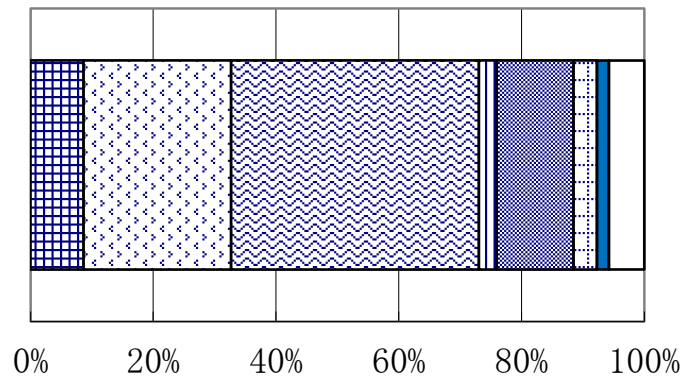


※・・・回答者数(375人)に占める割合

問26で「明るくきれいな選挙が行われていた」又は「わからない」と回答した人に、今回の総選挙の際に行われた啓発活動のうち、印象にあるものを尋ねたところ、「テレビCM」が47.2%（前回：36.5%）、「新聞広告」が25.6%（前回：25.3%）、「テレビ番組等の呼びかけ」が20.0%（今回から新設）とマスメディアによる啓発活動の印象が高く、次いで「市町村の広報誌」が15.7%（前回：17.4%）の順となっている。




問28 明るくきれいな選挙が行われていない原因

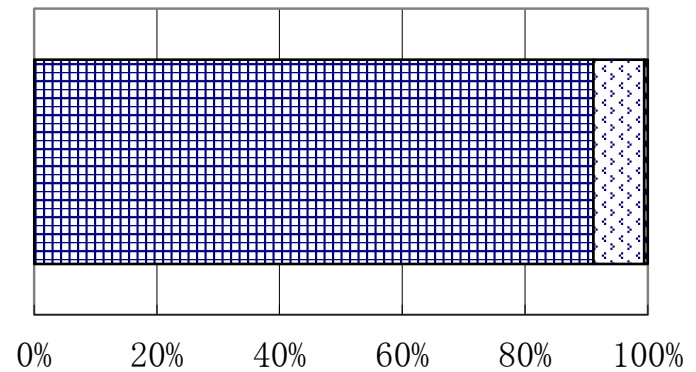
	回答数	割合
 有権者個人	9	8.7%
 政党	25	24.0%
 候補者や選挙運動員	42	40.4%
 取締りのやり方	3	2.9%
 社会	13	12.5%
 わからない	4	3.8%
 その他	2	1.9%
 無回答	6	5.8%



問26で「明るくきれいな選挙が行われていない」と回答した人に、その原因を尋ねたところ、「候補者や選挙運動員に原因がある」が40.4%（前回：35.3%）と最も高く、次いで「政党に原因がある」が24.0%（前回：30.9%）、「社会に原因がある」が12.5%（前回：16.2%）の順となっている。

問29 寄附禁止の認知度

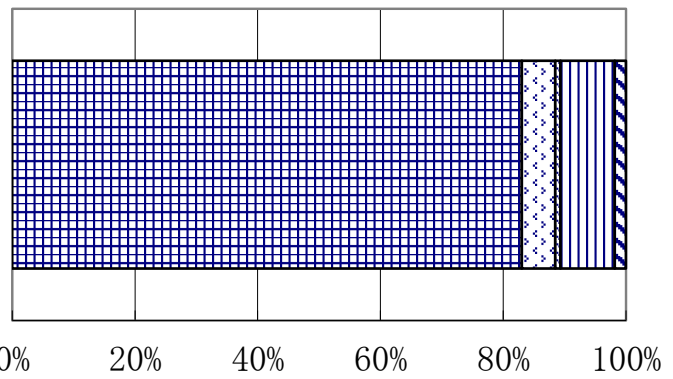
	回答数	割合
 知っている	451	91.1%
 知らない	41	8.3%
 無回答	3	0.6%



公職の候補者に係る寄附禁止制度について知っているか尋ねたところ、「知っている」が91.1%（前回：92.9%）となっている。







問30 転居する場合に、住民票を異動するかどうか

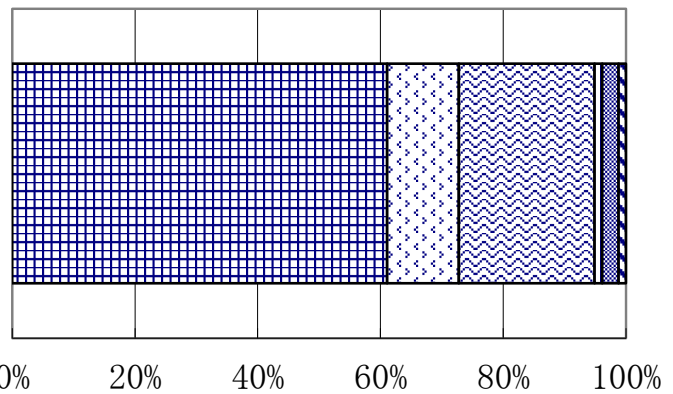
	回答数	割合
 異動する	411	83.0%
 異動しない	27	5.5%
 その他	4	0.8%
 わからない	44	8.9%
 無回答	9	1.8%



転居する際に、住民票を異動するかを尋ねたところ、「異動する」と回答した人は83.0%（前回：80.6%）となっている。







問31 住民票を異動する理由

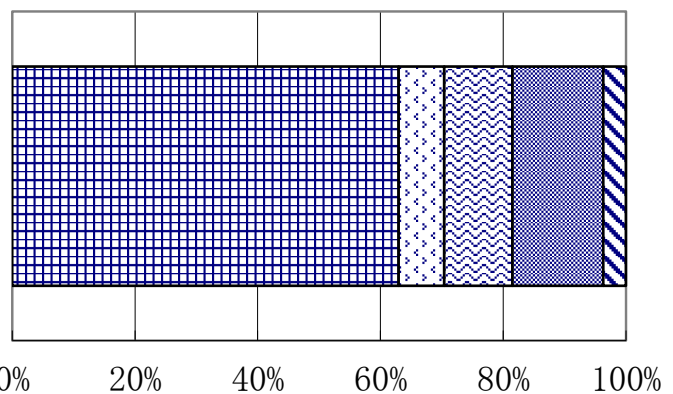
	回答数	割合
 法令上しなければいけないから	251	61.1%
 異動先で選挙をしたいから	48	11.7%
 異動しないと不都合があるから	91	22.1%
 その他	5	1.2%
 わからない	11	2.7%
 無回答	5	1.2%



問30で「異動する」と回答した人に、住民票を異動する理由を尋ねたところ、「法令上しなければいけないから」と回答した人は61.1%（前回：67.7%）となっている。





問32 住民票を異動しない理由

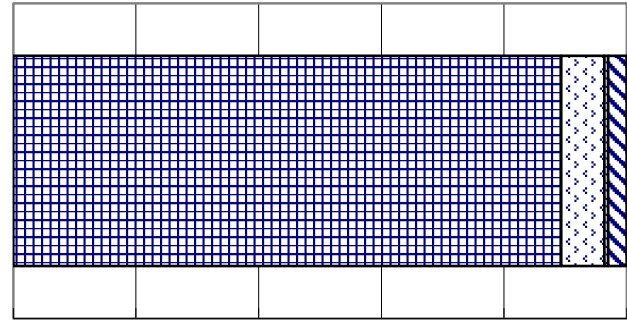
	回答数	割合
 必要性を感じないから	17	63.0%
 異動するのが面倒だから	2	7.4%
 家族が言うから	3	11.1%
 その他	0	0.0%
 わからない	4	14.8%
 無回答	1	3.7%



問30で「異動しない」と回答した人に、住民票を異動しない理由を尋ねたところ、「必要性を感じないから」と回答した人は63.0%（前回：66.7%）となっている。

問33 期日前投票制度の認知度

	回答数	割合
 制度も方法も知っている	442	89.3%
 制度は知っている、方法は知らない	35	7.1%
 知らない	3	0.6%
 無回答	15	3.0%

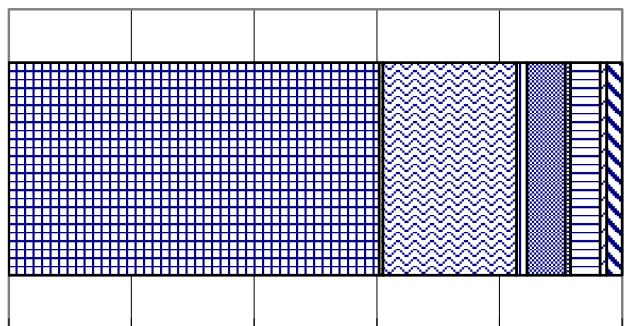


0% 20% 40% 60% 80% 100%

期日前投票制度を知っているか尋ねたところ、「制度も、投票方法も知っている」と「制度は知っているが、投票方法は知らない」の合計で96.4%（前回：94.3%）となっている。

問34 期日前投票をどのような方法で知ったか





	回答数	割合
 以前期日前投票した	288	60.4%
 法律を調べた	3	0.6%
 テレビ等	104	21.8%
 インターネット	8	1.7%
 新聞・雑誌	30	6.3%
 ポスター	4	0.8%
 友人・知人から	23	4.8%
 その他	5	1.0%
 無回答	12	2.5%

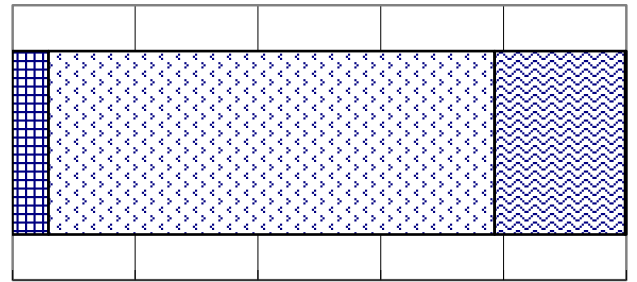


0% 20% 40% 60% 80% 100%

問33で、期日前投票制度を「知っている」と回答した人に、どのような方法で知ったのかを尋ねたところ、「以前実際に期日前投票をした」が60.4%（前回：49.4%）、「テレビやラジオ番組で知った」が21.8%（前回：30.5%）の順となっている。

問35 投票時間について





	回答数	割合
 延長すべき	29	5.9%
 ちょうどよい	360	72.7%
 短くすべき	105	21.2%
 無回答	1	0.2%

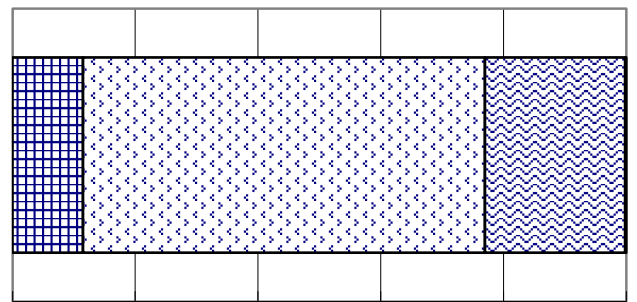


0% 20% 40% 60% 80% 100%

午前7時から午後8時までの投票時間についてどのように思うかを尋ねたところ、「ちょうどよい」が72.7%(前回:75.1%)と、前回と同様の傾向を示している。

問36 投票所までの距離

	回答数	割合
 遠い	57	11.5%
 ちょうどよい	324	65.5%
 近い	113	22.8%
 無回答	1	0.2%

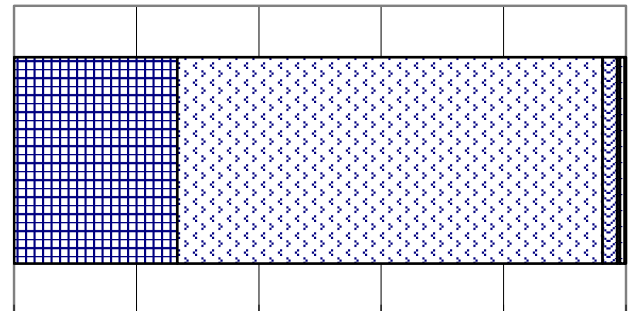


0% 20% 40% 60% 80% 100%

投票所までの距離について尋ねたところ、「ちょうどよい」が65.5%(前回:68.5%)で最も高くなっている。

問37 投票所までの交通機関

	回答数	割合
 徒歩	132	26.7%
 自家用車	344	69.5%
 自転車	12	2.4%
 バイク	0	0.0%
 バス	2	0.4%
 その他	4	0.8%
 無回答	1	0.2%

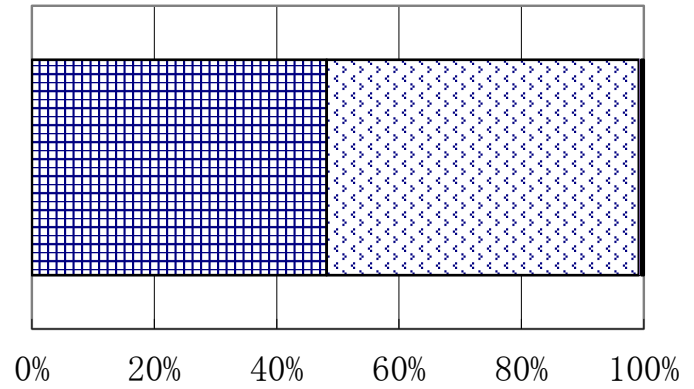


0% 20% 40% 60% 80% 100%

投票所までの交通機関を尋ねたところ、「自家用車」が69.5%(前回:69.2%)で最も高くなっている。

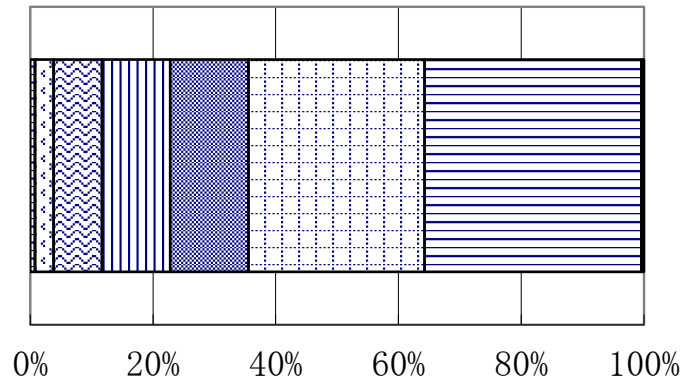
回答者の性別

	回答数	割合
男	238	48.1%
女	252	50.9%
その他	0	0.0%
答えたくない	3	0.6%
無回答	2	0.4%



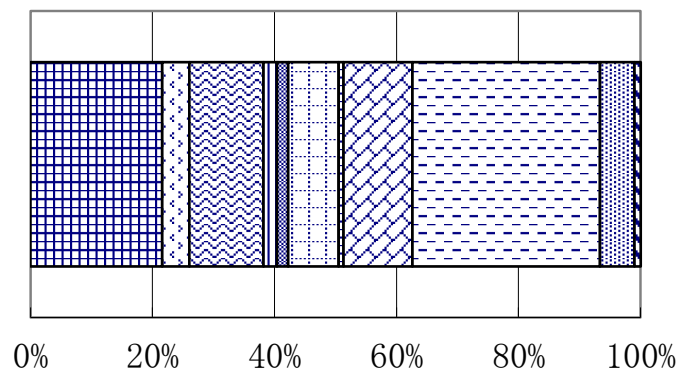
回答者の年齢

	回答数	割合
18～19歳	4	0.8%
20～29歳	15	3.0%
30～39歳	39	7.9%
40～49歳	55	11.1%
50～59歳	63	12.7%
60～69歳	142	28.7%
70歳以上	175	36.7%
無回答	2	0.4%






回答者の職業

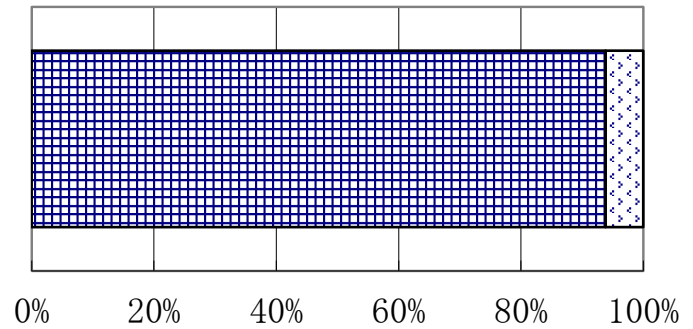
	回答数	割合
会社員	107	21.6%
公務員	22	4.4%
自営業	60	12.1%
会社役員	11	2.2%
自由業	9	1.8%
専業主婦(夫)	41	8.3%
学生	4	0.8%
パート・アルバイト	56	11.3%
無職	152	30.7%
その他	28	5.7%
無回答	5	1.0%



【参考】問11と問22のクロス集計




(1) 家族が投票に行く場合に、投票に行った割合

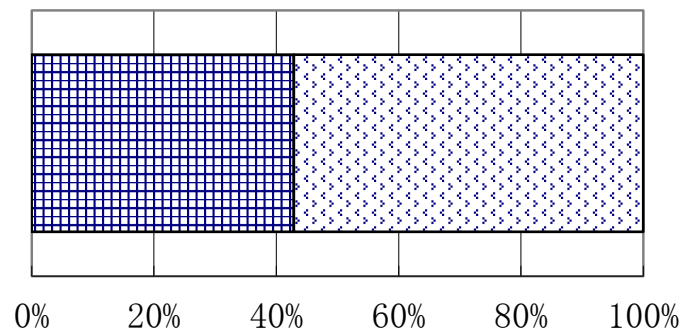
	回答数	割合
 投票した	381	93.8%
 投票しなかった	25	6.2%
 無回答	0	0.0%



問22「家族は投票に行ったか」において「全員行った」又は「投票に行った者がいる」と回答した方の問11「総選挙での投票」の回答は、「投票した」が93.8%となっている。

(2) 家族が投票に行かない場合に、投票に行った割合

	回答数	割合
 投票した	15	42.9%
 投票しなかった	20	57.1%
 無回答	0	0.0%



問22「家族は投票に行ったか」において「投票に行った者がいない」と回答した方の問11「総選挙での投票」の回答は、「投票した」が42.9%となっている。

アンケート項目に対するお答えは、あなたのお考えに最も近いものの番号を○で囲んでください。
なお、お答えが「その他」のときは、その内容を（ ）内に具体的に御記入願います。



全員お答えください。

問1 あなたは、政治について、どの程度関心をお持ちですか。1つだけ選んでください。

- 1 非常に関心がある
→ 問3にお進みください。
- 2 多少関心がある
→ 問3にお進みください。
- 3 あまり関心がない
→ 問2にお進みください。
- 4 全く関心がない
→ 問2にお進みください。

問1で、3（あまり関心がない）又は4（全く関心がない）と答えた方にお聞きします。

問2 政治に関心がないのは、なぜですか。1つだけ選んでください。

- 1 政治は、日常の暮らしに関係が薄いから
- 2 個人の意見が、政治に反映されないから
- 3 政治は、難しくよくわからないから
- 4 忙しく、政治について考える暇がないから
- 5 政治そのものに、関心がないから
- 6 その他（ ）

全員お答えください。

問3 あなたは、今の政治にどの程度満足していますか。1つだけ選んでください。

- 1 かなり満足している
- 2 まあまあ満足している
- 3 やや不満である
- 4 かなり不満である
- 5 どちらともいえない
- 6 わからない

全員お答えください。

問4 あなたには支持する政党がありますか。1つだけ選んでください。

- 1 ある
- 2 ない

全員お答えください。

問5 令和3年10月31日に行われた衆議院議員総選挙について、あなた自身はどれくらい関心をもちましたか。1つだけ選んでください。

- 1 非常に関心をもった
- 2 多少は関心をもった
- 3 あまり関心をもちなかった
- 4 全く関心をもちなかった

全員お答えください。

問6 令和3年10月31日に行われた衆議院議員総選挙で、あなたは投票率の増減についてどれくらい関心をもちましたか。1つだけ選んでください。

- 1 非常に関心をもった
- 2 多少は関心をもった
- 3 あまり関心をもちなかった
- 4 全く関心をもちなかった

全員お答えください。

問7 選挙での投票について、あなたはこの中のどれに近い考えをお持ちですか。1つだけ選んでください。

- 1 投票することは、国民としての義務である
- 2 投票することは、国民の権利であるが、棄権すべきではない
- 3 投票するかしないかは、個人の自由である
- 4 棄権も意思表示の一つである
- 5 その他（ ）

全員お答えください。

問8 近年の選挙において、投票率の低下が目立っていますが、このことについて、あなたはどのように思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 投票するかしないかは個人の自由であり、別に構わない
- 2 自分たちの代表を選ぶ選挙なので好ましくないが、止むを得ない
- 3 何らかの対策を講じるべきである
- 4 その他（ ）
- 5 わからない

※裏面も忘れずに回答してください。

全員お答えください。

問 9 あなたは、投票率が低下している理由は何だと思えますか。1つだけ選んでください。

- 1 政治より自分のことを考える人が多いから
- 2 支持できる政党等や候補者がいないから
- 3 有権者の政治への不満や不信のあらわれ
- 4 投票しても政治はよくなると思えない人が多いから
- 5 その他 ()
- 6 わからない

全員お答えください。

問 10 あなたは、投票率を上げるために、どのようなことを行うべきだと思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 棄権防止のため、罰則を設けるべきである
- 2 必ず投票する人を表彰するなど、褒賞制度を設けるべきである
- 3 選挙制度の改正などにより、有権者が投票しやすい環境をつくるべきである
- 4 選挙運動を自由にして、選挙への関心や参加を高めるべきである
- 5 政治や選挙に興味をもたせるように、教育や啓発活動に力を入れるべきである
- 6 自然の成り行きにまかせるべきで、何も行う必要はない
- 7 その他 ()
- 8 わからない

全員お答えください。

問 11 あなたは、令和3年10月31日に行われた衆議院議員総選挙では、投票しましたか。1つだけ選んでください。

- 1 投票した
→ 問12にお進みください。
- 2 投票しなかった
→ 問19にお進みください。

問 11 で、1 (投票した) と答えた方にお聞きします。

問 12 このたびの衆議院議員総選挙で、投票に行かれたのはどういう気持ちからですか。1つだけ選んでください。

- 1 どうしても当選させたい候補者や、応援したい政党等があったから
- 2 今の政治に不満があり、それを改めたいと思ったから
- 3 政治をよりよくするためには、投票することが大事だから
- 4 投票するのは、国民としての義務だから
- 5 団体、組織、知り合いに頼まれたから
- 6 投票日に特に予定がなかったから
- 7 その他 ()
- 8 わからない

問 11 で、1 (投票した) と答えた方にお聞きします。

問 13 あなたは、誰と投票に行きましたか。1つだけ選んでください。

- 1 一人で行った
- 2 家族で行った
- 3 友人で行った
- 4 その他 ()

問 11 で、1 (投票した) と答えた方にお聞きします。

問 14 小選挙区の選挙では、あなたは政党等において投票しましたか、それとも候補者個人に重きをおいて投票しましたか。1つだけ選んでください。

- 1 政党等において
→ 問15にお進みください。
- 2 候補者個人に重きをおいて
→ 問16にお進みください。
- 3 一概にいえない
→ 問17にお進みください。
- 4 わからない
→ 問17にお進みください。

問 14 で、1 (政党等において) と答えた方にお聞きします。

問 15 政党等において投票した理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 私はその党の党員だから
- 2 私はその党の候補者の後援会に入っているから
- 3 その党の政策や活動を支持するから
- 4 なんとなくその政党等が好きだから
- 5 その他 ()
- 6 わからない
→ 問17にお進みください。

問 14 で、2 (候補者個人に重きをおいて) と答えた方にお聞きします。

問 16 候補者個人に重きをおいて投票した理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 小選挙区選挙はとにかく人物が大切だから
- 2 その候補者の後援会に入っているから
- 3 その候補者は識見や実績の点で優れているから
- 4 その候補者は清潔な人だから
- 5 その候補者は安心できる人だから
- 6 職場や団体の関係でその人をすすめられたから
- 7 その他 ()
- 8 わからない

問 11 で、1 (投票した) と答えた方にお聞きします。

問 17 比例代表の選挙についてお聞きします。比例代表選挙で、その政党等に投票した主な理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 その党の政策や活動を支持するから
- 2 なんとなくその党が好きだから
- 3 他の党よりまだから
- 4 私の支持する人が入っている党だから
- 5 私の支持する人が党の名簿に載っていたから
- 6 全体としてみて、名簿に載った候補者がよかったから
- 7 職場や団体の人のすすめだから
- 8 家族や知人のすすめだから
- 9 その他 ()
- 10 わからない

問 11 で、1 (投票した) と答えた方にお聞きします。

問 18 比例代表の選挙で、政党等に投票するにあたって、政党等が出した候補者名簿は投票の判断材料として役に立ちましたか。1つだけ選んでください。

- 1 大いに役に立った
- 2 ある程度役に立った
- 3 役に立たなかった
- 4 わからない

→ 問 22 にお進みください。

問 11 で、2 (投票しなかった) と答えた方にお聞きします。

問 19 あなたは、衆院選で投票に行こうと思いましたが、1つだけ選んでください。

- 1 思った
→ 問 20 にお進みください。
- 2 思わなかった
→ 問 21 にお進みください。

問 19 で、1 (思った) と答えた方にお聞きします。

問 20 衆院選で投票に行こうと思ったが、結果的に行かなかった理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 用事があったから
- 2 病気やケガのため
- 3 面倒だったから
- 4 政策や候補者の人物がよくわからなかったから
- 5 投票したい政党や候補者がなかったから
- 6 自分一人くらい投票してもしなくても同じだから
- 7 投票しても政治は変わらないと思ったから
- 8 投票所の雰囲気がいやだから
- 9 投票所の場所が遠かった (わからなかった) から
- 10 その他 ()
- 11 わからない
→ 問 22 にお進みください。

問 19 で、2 (思わなかった) と答えた方にお聞きします。

問 21 衆院選で投票に行こうと思わなかった理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 用事があったから
- 2 病気やケガのため
- 3 面倒だったから
- 4 選挙にあまり関心がなかったから
- 5 政策や候補者の人物がよくわからなかったから
- 6 投票したい政党や候補者がなかったから
- 7 自分一人くらい投票してもしなくても同じだから
- 8 投票しても政治は変わらないと思ったから
- 9 投票所の雰囲気がいやだから
- 10 選挙があることを知らなかったから
- 11 投票所の場所が遠かった (わからなかった) から
- 12 その他 ()
- 13 わからない

全員お答えください。

問 22 あなたの同居している御家族 (あなた以外) は、投票に行きましたか。1つだけ選んでください。

- 1 全員投票に行った
- 2 投票に行った者がいる
- 3 投票に行った者がいない
- 4 単身世帯である
- 5 その他 ()

※裏面も忘れずに回答してください。

全員お答えください。

問 23 このたびの衆議院議員総選挙の選挙期間中、あなたは候補者や政党等が行った選挙運動にはどのくらい関心をもちましたか。1つだけ選んでください。

- 1 非常に関心をもった
- 2 多少は関心をもった
- 3 あまり関心をもたなかった
- 4 全く関心をもたなかった
- 5 わからない

全員お答えください。

問 24 あなたが、誰（どの政党等に）に投票するか決めるときに参考にしたものはどれですか。2つまで選んでください。（投票しなかった方は、もっとも印象に残っているものを2つまで選んでください）

- 1 個人（政党）演説会
- 2 街頭演説
- 3 連呼
- 4 新聞広告
- 5 政見放送
- 6 選挙公報
- 7 マニフェスト
- 8 ポスターや看板
- 9 ビラやハガキ
- 10 電話による勧誘
- 11 家族の話し合い
- 12 近所の評判
- 13 友人・知人・親戚のすすめ
- 14 仕事関係の団体のすすめ
- 15 町内会・自治会等の推せん
- 16 新聞・テレビ等の選挙報道
- 17 その他（ ）

全員お答えください。

問 25 衆議院議員総選挙と同時に、最高裁判所裁判官国民審査が行われましたが、国民審査では、あなたは、審査される裁判官の人物や業績をよく調べましたか。1つだけ選んでください。

- 1 よく調べた
- 2 多少調べた

- 3 まったく調べなかった
- 4 わからない

全員お答えください。

問 26 このたびの衆議院議員総選挙は、山形県内において、全体として**明るくきれいな選挙**※が行われたと思いますか。1つだけ選んでください。

※ 有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のこと。

- 1 思う
→ 問 27 にお進みください。
- 2 思わない
→ 問 28 にお進みください。
- 3 わからない
→ 問 27 にお進みください。

問 26 で、1（思う）又は3（わからない）と答えた方にお聞きします。

問 27 このたびの衆議院議員総選挙で「投票に参加しましょう」という呼びかけを、明るい選挙を推進する民間団体や国や県・市町村で行いましたが、あなたが見たり聞いたりしたもののうち、印象に残っているもの、または効果があったと思うものを2つまで選んでください。

- 1 テレビCM
- 2 ラジオCM
- 3 新聞広告
- 4 インターネット広告（YouTube）
- 5 啓発ポスター
- 6 啓発チラシ
- 7 コンビニレジ画面広告
- 8 垂れ幕、看板
- 9 各種啓発グッズ（ティッシュ等）
- 10 のぼり旗
- 11 県や市町村の広報車（立候補者の選挙カーではありません）
- 12 スーパー等における街頭啓発
- 13 プロスポーツの試合会場における街頭啓発
- 14 県や市町村のホームページ
- 15 テレビ番組等の呼びかけ
- 16 市町村の広報誌
- 17 その他（ ）
- 18 見聞きしなかった
- 19 わからない
→ 問 29 にお進みください。

問 26 で、2 (思わない) と答えた方にお聞きします。

問 28 明るくきれいな選挙が行われていない原因は、どこにあると思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 有権者個人に原因がある
- 2 政党等に原因がある
- 3 候補者や選挙運動員に原因がある
- 4 取締りのやり方に原因がある
- 5 社会に原因がある
- 6 わからない
- 7 その他 ()

全員お答えください。

問 29 公職にある人や立候補予定者が選挙区内の人に寄附したり、選挙区内の人がこれらの人に寄附を求めたりすることは、選挙の時に限らず禁止されています。あなたはこのことを知っていますか。1つだけ選んでください。

- 1 知っている
- 2 知らない

全員お答えください。

問 30 あなたが転居することとなった場合、引っ越し先の市町村へ住民票を異動すると思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 異動すると思う
→ 問 31 にお進みください。
- 2 異動しないと思う
→ 問 32 にお進みください。
- 3 その他 ()
→ 問 33 にお進みください。
- 4 わからない
→ 問 33 にお進みください。

問 30 で、1 (異動すると思う) と答えた方にお聞きします。

問 31 住民票を異動すると思う理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 法令上異動しなければならないから
- 2 異動先の市町村において選挙したいから
- 3 異動しないと不都合があるから

(不都合の内容:)

- 4 その他 ()
 - 5 わからない
- 問 33 にお進みください。

問 30 で、2 (異動しないと思う) と答えた方にお聞きします。

問 32 住民票を異動しないと思う理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 異動する必要性を感じないから
- 2 異動するのが面倒だから
- 3 家族が地元に住民票を残しておくように言うから
- 4 その他 ()
- 5 わからない

全員お答えください。

問 33 選挙では、投票日当日に用事があって投票所に行くことができない方のために、「期日前投票」という制度がありますが、あなたはこの制度を知っていますか。また、投票方法についてはどうですか。1つだけ選んでください。

- 1 制度も、投票方法も知っている
→ 問 34 にお進みください
- 2 制度は知っているが、投票方法は知らない
→ 問 34 にお進みください
- 3 制度も、投票方法も知らない
→ 問 35 にお進みください

問 33 で、1 (制度も、投票方法も知っている) 又は 2 (制度は知っているが、投票方法は知らない) と答えた方にお聞きします。

問 34 期日前投票制度について、どのような方法で知りましたか。1つだけ選んでください。

- 1 以前実際に期日前投票をした
- 2 自分で公職選挙法を調べた
- 3 テレビやラジオ番組で知った
- 4 インターネットで知った
- 5 新聞、雑誌、チラシで知った
- 6 掲示してあるポスターで知った
- 7 友人知人から教えてもらった
- 8 その他 ()

※裏面も忘れずに回答してください。

全員お答えください。

問 35 投票時間は、午前7時から午後8時までとなっていますが、あなたは、この投票時間についてどのようにお考えですか。1つだけ選んでください。

- 1 もっと延長すべきだ
- 2 ちょうどよい
- 3 短くすべきだ

全員お答えください。

問 36 投票所までの距離をどのように思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 遠い
- 2 ちょうどよい
- 3 近い

全員お答えください。

問 37 投票所までの交通手段はどのようなものをお使いですか。1つだけ選んでください。

- 1 徒歩
- 2 自家用車
- 3 自転車
- 4 バイク
- 5 バス
- 6 その他 ()

- 2 20～24 歳
- 3 25～29 歳
- 4 30～39 歳
- 5 40～49 歳
- 6 50～59 歳
- 7 60～69 歳
- 8 70 歳以上

全員お答えください。

あなたがお住まいの市町村を教えてください。

()

全員お答えください。

あなたの主な職業は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 会社員
- 2 公務員
- 3 自営業
- 4 会社役員
- 5 自由業
- 6 専業主婦 (夫)
- 7 学生
- 8 パート・アルバイト
- 9 無職
- 10 その他 ()

御意見をお伺いするのは以上ですが、この結果を統計的に分析するために、あなた自身のことについてお尋ねします。

全員お答えください。

あなたの性別を教えてください。

- 1 男
- 2 女
- 3 その他
- 4 答えたくない

全員お答えください。

あなたの年齢（令和3年11月1日時点）を教えてください。

- 1 18～19 歳

御協力、誠にありがとうございました。

